

## 【Ⅱ 調査結果の概要】

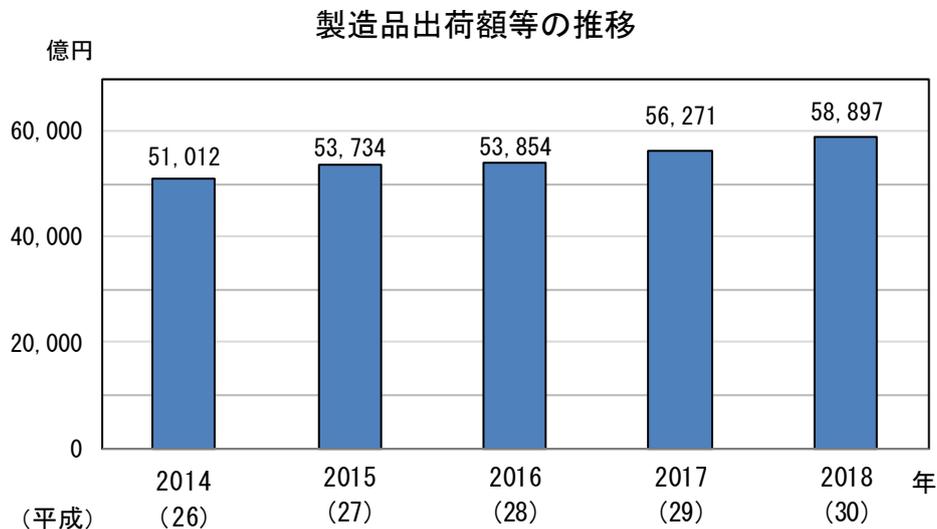
### 1 概況

2019年の概況は次のとおりである。

- ◎ 事業所数は、5487事業所で、前年に比べ134事業所減少（前年比△2.4%）した。
- ◎ 従業者数は、20万4629人で、前年に比べ3300人増加（同1.6%）した。
- ◎ 製造品出荷額等は、5兆8897億円で、前年に比べ2626億円増加（同4.7%）した。
- ◎ 付加価値額は、2兆1067億円で、前年に比べ1290億円増加（同6.5%）した。

※ 従業者4人以上の製造事業所について、集計・分析を行ったものである。

※ 事業所数、従業者数は2019年6月1日現在の数値、  
製造品出荷額等、付加価値額は2018年1年間の数値である。



※2015（平成27）年は、「平成28年経済センサスー活動調査」の数値である。

※過去の本調査結果やその他の統計資料は、県のホームページでご覧いただけます。

トップ>県政情報>統計>統計情報>工業統計調査

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kensei/tokei/tokei-joho/11111/kohyoshiryo/syoukou-jigyousho/kogyo/>

## 2 事業所数（従業者4人以上）

- ① 事業所数は5487事業所で、前年に比べ134事業所減少（前年比△2.4%）している。（表-1）
- ② 産業別にみると、「窯業・土石製品製造業」が711事業所（構成比13.0%）と最も多く、次いで「金属製品製造業」が701事業所（同12.8%）、「生産用機械器具製造業」が573事業所（同10.4%）となっている。（表-3）
- ③ 従業者規模別にみると、従業者4～9人区分の事業所が1990事業所（構成比36.3%）と最も多く、次いで「10～19人」が1409事業所（同25.7%）となっており、この2区分で全体の62%を占めている。（表-5）
- ④ 圏域別にみると、岐阜圏域（構成比27.7%）、中濃圏域（同25.9%）、東濃圏域（同20.0%）、西濃圏域（同20.0%）、飛騨圏域（同6.5%）の順であった。（表-7）

図-1 主な産業別事業所数（従業者4人以上）

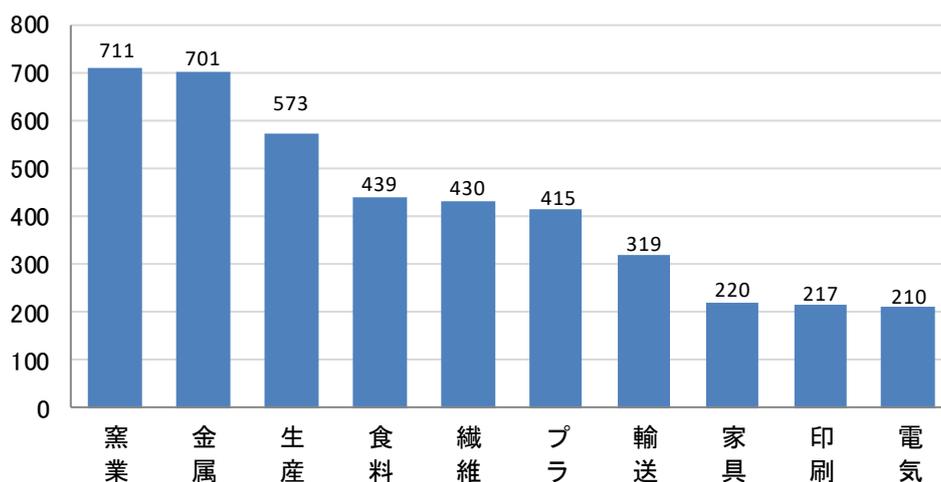
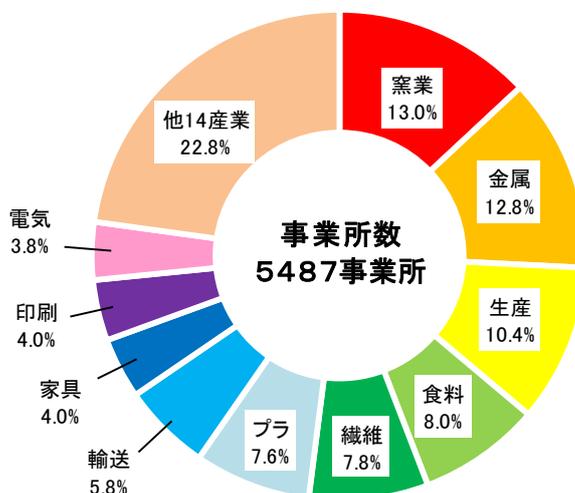


図-2 産業別事業所数の構成（従業者4人以上）



### 3 従業者数（従業者4人以上）

- ① 従業者数は20万4629人で、前年に比べ3300人増加（前年比1.6%）している。（表-1）
- ② 産業別にみると、「輸送用機械器具製造業」が3万3896人（構成比16.6%）と最も多く、次いで「金属製品製造業」が1万9351人（同9.5%）、「プラスチック製品製造業（別掲を除く）」が1万8559人（同9.1%）となっている。（表-3）
- ③ 従業者規模別にみると、「100～299人」が5万4265人（構成比26.5%）と最も多く、次いで「30～99人」が5万210人（同24.5%）となっており、この2区分で全体の51%を占めている。（表-5）
- ④ 圏域別にみると、中濃圏域（構成比28.3%）、岐阜圏域（同25.5%）、西濃圏域（同22.4%）、東濃圏域（同18.3%）、飛騨圏域（同5.6%）の順であった。（表-7）

図-3 主な産業別従業者数（従業者4人以上）

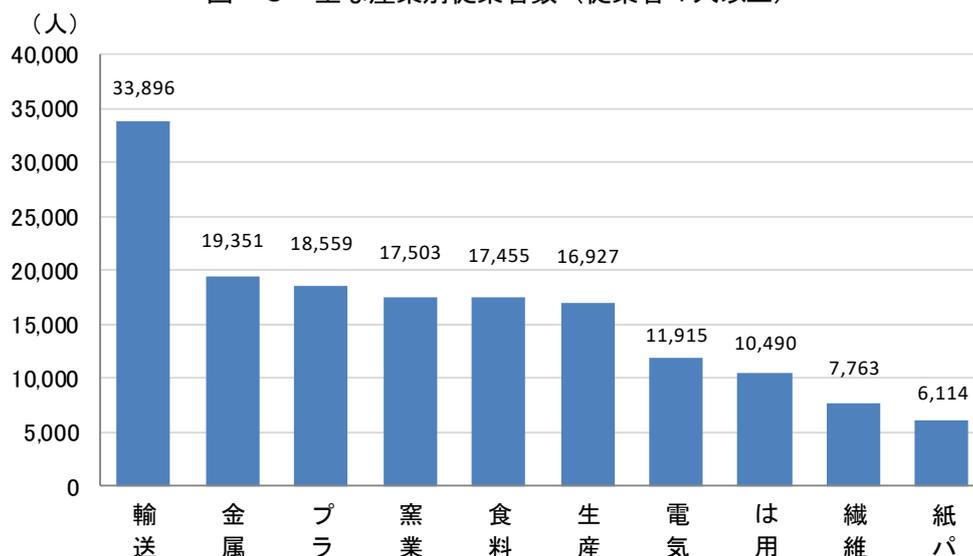
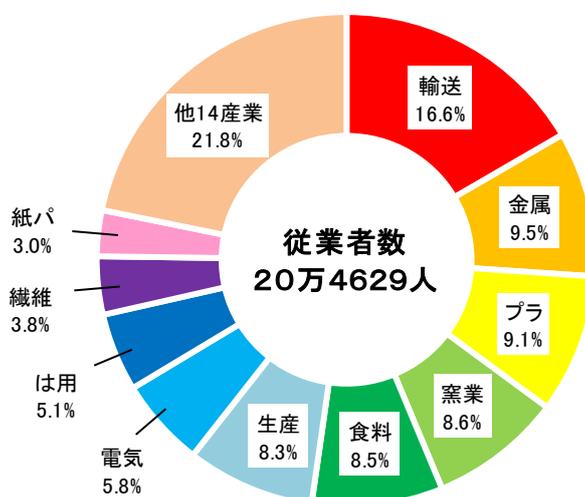


図-4 産業別従業者数の構成（従業者4人以上）



## 4 製造品出荷額等（従業者4人以上）

- ① 製造品出荷額等は5兆8897億円で、前年に比べ2626億円増加（前年比4.7%）している。（表-2）
- ② 産業別に構成をみると、「輸送用機械器具製造業」が1兆1148億円（構成比18.9%）と最も多く、次いで「生産用機械器具製造業」が5654億円（同9.6%）、「プラスチック製品製造業（別掲を除く）」が4947億円（同8.4%）となっている。（表-4）
- ③ 圏域別にみると、中濃圏域が1兆7927億円（構成比30.4%）、岐阜圏域が1兆4715億円（同25.0%）、西濃圏域が1兆4065億円（同23.9%）、東濃圏域が9425億円（同16.0%）、飛騨圏域が2766億円（同4.7%）の順であった。（表-8）

図-5 主な産業別製造品出荷額等（従業者4人以上）

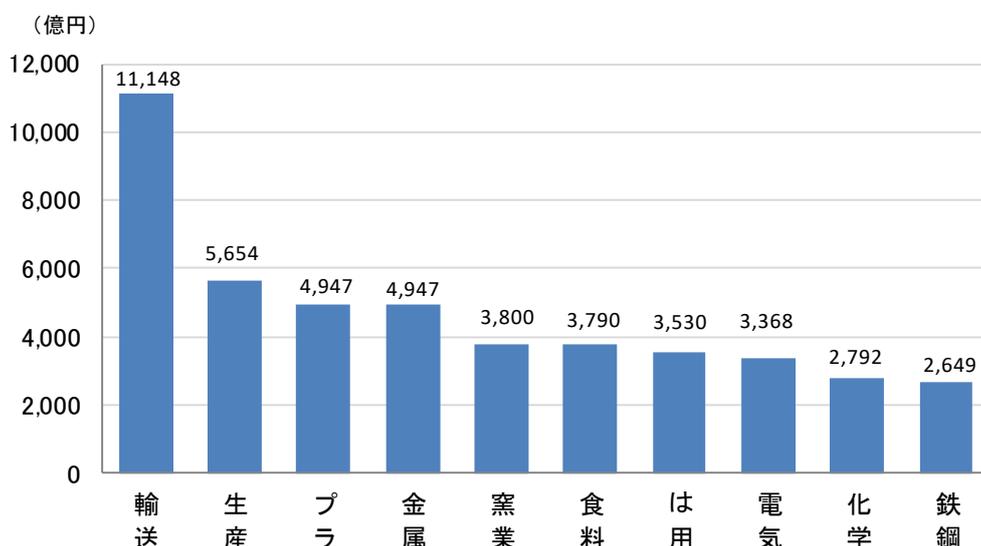
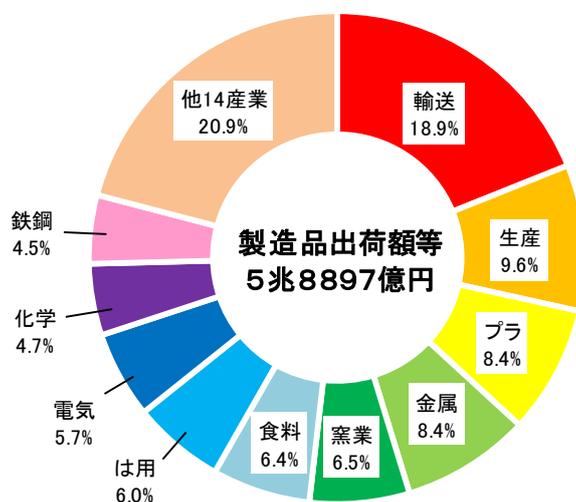


図-6 産業別製造品出荷額等の構成（従業者4人以上）



## 5 付加価値額（従業者4人以上）

- ① 付加価値額（従業者4～29人の事業所については粗付加価値額）は2兆1067億円で、前年に比べ1290億円増加（前年比6.5%）している。（表-2）
- ② 産業別に構成をみると、「輸送用機械器具製造業」が3792億円（構成比18.0%）と最も多く、次いで「金属製品製造業」が2102億円（同10.0%）、「生産用機械器具製造業」が2087億円（同9.9%）となっている。（表-4）
- ③ 圏域別にみると、中濃圏域が6075億円（構成比28.8%）、岐阜圏域が5671億円（同26.9%）、西濃圏域が5060億円（同24.0%）、東濃圏域が3171億円（同15.1%）、飛騨圏域が1090億円（同5.2%）の順であった。（表-8）

図-7 主な産業別付加価値額（従業者4人以上）

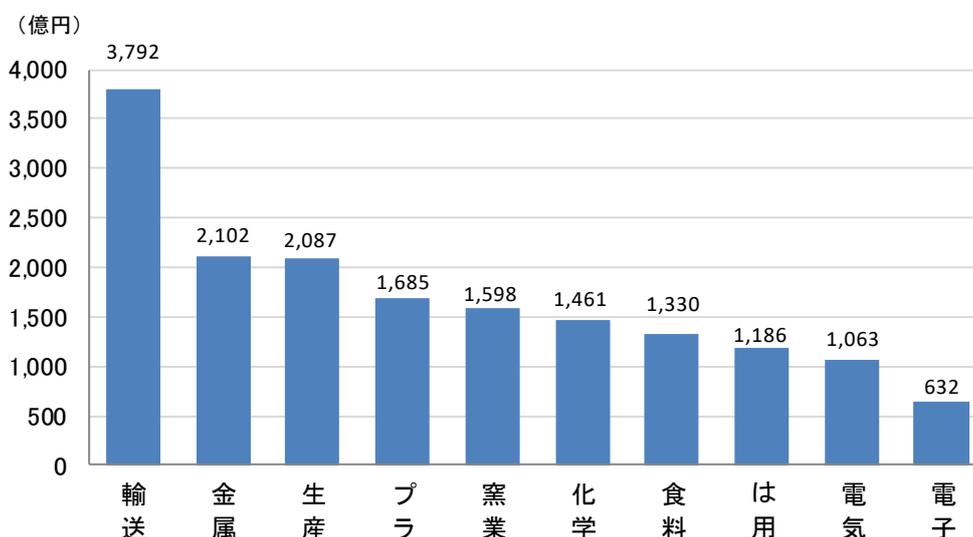
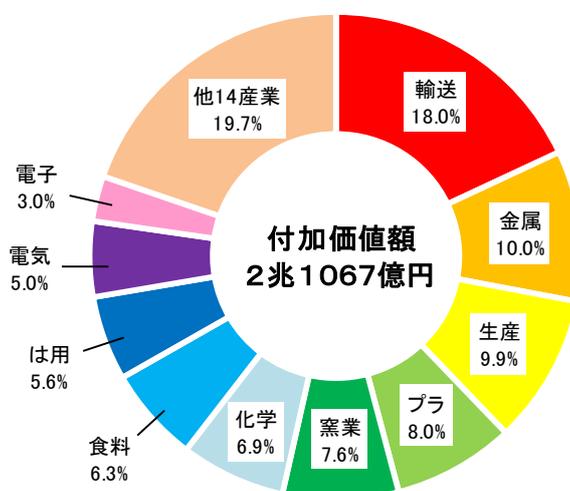


図-8 産業別付加価値額の構成（従業者4人以上）



## 6 圏域別にみた事業所数、従業者数、産業別製造品出荷額等（従業者4人以上）

### 【岐阜圏域】

事業所数は1518事業所で、従業者数は5万2128人である。

製造品出荷額等は1兆4715億円で、産業別に構成をみると、「輸送用機械器具製造業」が5242億円（構成比35.6%）と最も多く、次いで「食料品製造業」が1191億円（同8.1%）、「生産用機械器具製造業」が1080億円（同7.3%）などとなっている。

### 【西濃圏域】

事業所数は1095事業所で、従業者数は4万5819人である。

製造品出荷額等は1兆4065億円で、産業別に構成をみると、「プラスチック製品製造業（別掲を除く）」が2055億円（同14.6%）と最も多く、次いで「輸送用機械器具製造業」が1400億円（同10.0%）、「生産用機械器具製造業」が1273億円（構成比9.1%）などとなっている。

### 【中濃圏域】

事業所数は1419事業所で、従業者数は5万7927人である。

製造品出荷額等は1兆7927億円で、産業別に構成をみると、「輸送用機械器具製造業」が3424億円（構成比19.1%）と最も多く、次いで「生産用機械器具製造業」が2833億円（同15.8%）、「金属製品製造業」が2274億円（同12.7%）などとなっている。

### 【東濃圏域】

事業所数は1096事業所で、従業者数は3万7348人である。

製造品出荷額等は9425億円で、産業別に構成をみると「窯業・土石製品製造業」が1565億円（同16.6%）と最も多く、次いで「電気機械器具製造業」が1272億円（構成比13.5%）、「輸送用機械器具製造業」が990億円（同10.5%）などとなっている。

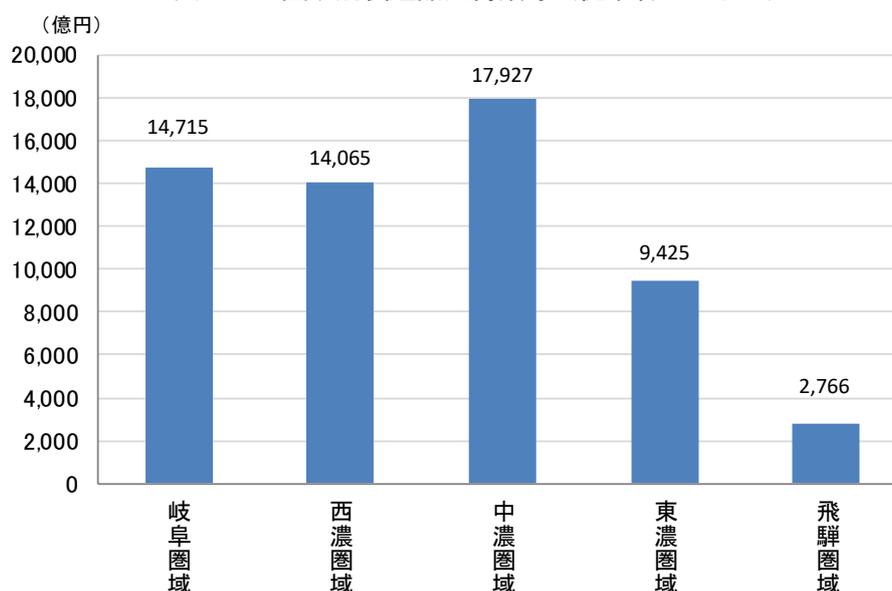
### 【飛騨圏域】

事業所数は359事業所で、従業者数は1万1407人である。

製造品出荷額等は2766億円で、産業別に構成をみると、「化学工業」が676億円（構成比24.4%）と最も多く、次いで「非鉄金属製造業」が379億円（同13.7%）、「家具・装備品製造業」が363億円（同13.1%）などとなっている。

（表-7，8）

図-9 圏域別製造品出荷額等（従業者4人以上）



図一 10 製造品出荷額等の圏域別産業中分類別構成（従業者4人以上）

